

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成31年03月18日

計画の名称	水源の里の清流を未来へ引き継ぐ水環境づくり(重点計画)												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	真庭市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,250	A	3,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を37%(H28)から40%(H31)へ増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)	37%	38%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	H32					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	真庭市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	久世勝山処理区	污水管 150 L=15.0km	真庭市						1,300	-	-		
	A07-002	下水道	一般	真庭市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	久世勝山処理区	調査・設計等	真庭市							200	-	-	
	A07-003	下水道	一般	真庭市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	落合処理区	污水管 150 L=15.0km	真庭市							1,300	-	-	
	A07-004	下水道	一般	真庭市	直接	-	管渠（ 污水）	新設	落合処理区	調査・設計等	真庭市								200	-	-
	A07-005	下水道	一般	真庭市	直接	-	終末処 理場	新設	落合浄化センター増設事 業	オキシレーションディッチ・ 最終沈殿地増設 = 1池	真庭市								230	-	-
	A07-006	下水道	一般	真庭市	直接	-	終末処 理場	新設	落合浄化センター増設事 業	調査・設計等	真庭市								20	-	-
												小計							3,250		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						3,250		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制 真庭市 建設部 下水道課が実施	中間評価の実施時期 平成31年3月  公表の方法 真庭市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率が順調に増加したことにより、安全・安心、快適な暮らしの実現、および良好な環境の創造を推進できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、下水道事業を着実に推進していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）	
	中間 目標値	38%
	中間 実績値	40%
		要因1：人口密集地の整備を優先したため。 要因2：総人口の減少